okayo
The sound option

Wireless Portable Sound System

取扱説明書

800MHz帯ワイヤレスポータブルサウンドシステム

GPA-828DU

はじめに

このたびは、800MHz 帯ワイヤレスポータブルサウンドシステム GPA-828DU をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の際は本取扱説明書をお読みの上、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
付属品や別売品は販売店でお求めいただけます。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
お取扱いのご注意・メンテナンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
各部の名前と主な機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
操作パネル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
800MHz 帯ワイヤレスレシーバーの操作パネル　DR-500・・・・・・5・6
Bluetooth レシーバーの操作パネル　BX-501・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
オーディオプレイヤー　CD-800S の操作パネル・・・・・・・・・・・・・・8・9
ハンド型ワイヤレスマイクロホン　EJ-701TS ／ EJ-701TM・・10・11
タイピン型ワイヤレスマイクロホン　EJ-7T・・・・・・・・・・・・・・12・13
製品仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14・15
同梱品について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
別売オプション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17・18
故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

安全上のご注意（必ずお守りください）

この表示は、してはいけない禁止行為です。	この表示は、実行しなければならない内容です。

⚠警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

本機を湿気や雨水が当たる場所に置かないでください。ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。	指定以外の電源は使用しないでください。故障・発熱・発火の原因になります。
電池交換の際は、交換する電池と元の電池が同じ仕様であることを確認してください。不適切な電池は爆発を招いたり正常に動作できなくなったりする可能性があります。	乾電池は充電しないでください。故障・発熱・発火の原因になります。
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。感電する危険性があります。	本機を分解、改造しないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。

⚠注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

外部から強い衝撃を与えたり落としたりしないようにしてください。故障の原因になります。	異常に温度が高くなる場所に置かないでください。温度が高くなりすぎて火災の原因になることがあります。
油煙や湯気の当たる場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になることがあります。	長期間使わない時は、マイクから電池を取り出してください。液漏れ・発熱を起こすことがあります。

お取扱いのご注意・メンテナンス

800MHz帯ワイヤレスポータブルサウンドシステム GPA-828DU お取扱いのご注意

初めてご使用になる前に、必ず充電してください。

本機GPA-828DUは充電用電池を内蔵しています。本製品開封後初めてご使用になる前に、少なくとも8時間充電してください。
工場出荷前に充電してありますが、長距離の輸送や長時間の保管により電池は自然に放電し、電力不足を起こしている場合があります。
電池寿命をできるだけ長く保つため、必ずこれらの動作をおこなってください。

充電は定期的に行ってください。

本製品を長期間ご使用にならない場合は、保管する前にフル充電をおこなってください。
なおかつ、毎月1回は充電し、電池の使用寿命を確保するとともに、最適な機能を維持するようにしてください。
長期間ご使用にならなかった後で再び使用する前に、フル充電をおこなってください。
電源をオフにしてから少なくとも8時間のフル充電を行うことをお勧めします。
電池寿命を延ばすため、本製品使用後も再度フル充電をおこなってください。

使用時に赤色の電源ランプが点滅した場合はすぐに電池を充電してください。

本機は電池自動遮断機能を有しています。電池使用時に電力が不足すると赤色の電源ランプが点滅し、電源は自動的に遮断され電池の過度な放電による損傷を防止します。
この現象が現れた場合は、すぐに電池を充電し、続けて使用しないでください。
本機は過負荷防止回路を搭載しており、電池の充電が終了すると自動的に充電を停止します。また電池充電中もスピーカーは正常にご使用いただけます。

ラベルについてのご注意

証明ラベルをむやみに剥がさないでください。

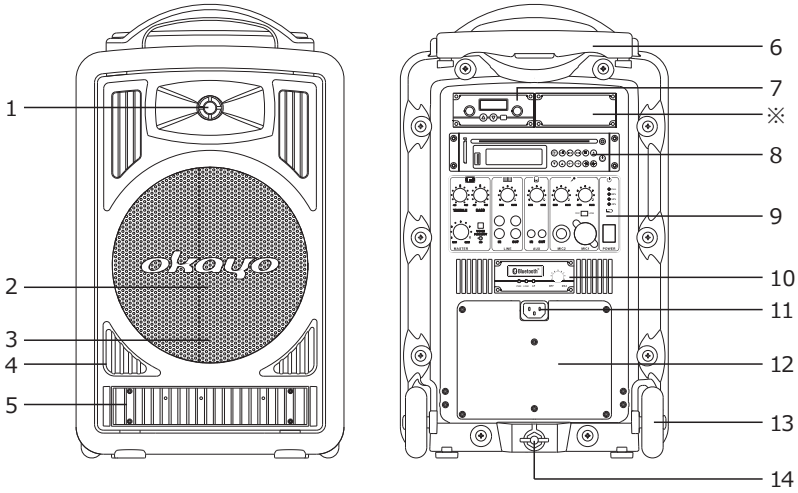
本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。　証明ラベルを剥がさないでください。

電池の廃棄・リサイクルについて

Pb

使用済みの電池の廃棄については、お住いの地域の廃棄規定に従ってください。 電池はリサイクルすることが可能です。
電池の破壊、解体、焼却などの行為はやめてください。

各部の名前と主な機能



1. ツイーター
2. スピーカーグリル/フルレンジスピーカー
3. Bluetooth表示ランプ
4. スピーカーホール
5. 通風孔
6. 伸縮式ハンドル
7. 800MHz帯ワイヤレスレシーバー
   ●**DR-500**（800MHz帯 ワイヤレス2波レシーバーモジュール）

※ DR-500ワイヤレスレシーバーを増設すると、ワイヤレス4波まで使用できます。

8. オーディオプレイヤー
   ●**CD-800S**
9. マスターコントロールパネル
   ●**GPA-828**（エコー）
10. Bluetoothレシーバー
    ●**BX-501**
11. AC入力
12. 電池カバー
13. キャスター
14. 三脚穴

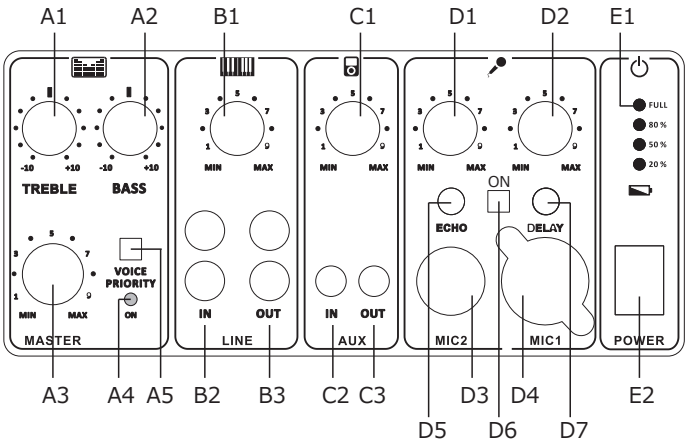
電池の交換　決して純正以外のバッテリーを使用しないでください。

本体背面の電池カバーをプラス(+)ドライバーを使って外します。

電池を取り出します。

赤を(+)、黒を(−)に正しく接続してください。

操作パネル



A1. トレブル(高音)

A2. バス(低音)

A3. マスター(主音量)

A4. トーク優先モード表示ランプ

A5. トーク優先モード入／切スイッチ

スイッチを入れると【A4】の表示ランプが点灯します。ワイヤレスマイク、有線マイクの音声を優先的に出力し、同時に再生されているBGM等の音量が下がります。

B1. LINE 入力音量

B2. LINE 入力

B3. LINE 出力

C1. AUX 入力音量

C2. AUX 入力(Φ 3.5mm)

C3. AUX 出力(Φ 3.5mm)

D1. 有線マイク(MIC2) 音量

D2. 有線マイク(MIC1) 音量

D3. 有線マイク(MIC2) 入力(Φ6.3mm)

D4. 有線マイク(MIC1)入力(Φ6.3mm)フォンコネクター、XLR コネクター

D5. エコー調節ダイヤル

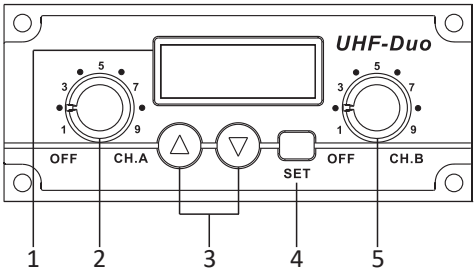
D6. エコー・ディレイスイッチ

D7. ディレイ調節ダイヤル

E1. バッテリーメーター

E2. 電源スイッチ

800MHz帯ワイヤレスレシーバーの操作パネル　DR-500



1. 液晶ウィンドウ(チャンネル、信号強度表示)
2. A チャンネルの電源スイッチと音量調節ダイヤル
3. チャンネル選択キー
4. SET(設定)キー
5. B チャンネルの電源スイッチと音量調節ダイヤル

ワイヤレスマイクを使用する場合、マイク、レシーバーともに周波数の設定が必要です。

操作方法

ワイヤレスレシーバーの電源を入れる

1. (2)および(5)のダイヤルを、ボリューム 1 の位置まで回します。 (2)が A チャンネル、(5)が B チャンネルのスイッチです。
2. 液晶ウィンドウに On が点灯します。約 1 ～ 2 秒後、ディスプレイにチャンネル番号が表示されます。

ワイヤレスレシーバーの電源を切る

1. (2)および(5)のダイヤルを、ボリューム OFF の位置まで回します。 (2)が A チャンネル、(5)が B チャンネルのスイッチです。
2. 液晶ウィンドウに OFF が表示され、約 2 ～ 3 秒後に電源が切れます。

チャンネルを設定する(マイクを 2 本使用する場合)

1. A チャンネルおよび B チャンネルのダイヤルを回し、電源を入れます。 SET キー(4)を長押しし、チャンネル切り替えモードにします。
2. 液晶ウィンドウに A チャンネルの番号が点滅し始めます。チャンネル選択キー(3)を押し、次ページ(P.6)のチャンネル表にあるチャンネルを選択します。
3. SET キー(4)をもう一度押すと、A チャンネルの設定が完了し、B チャンネルの番号が点滅し始めます。チャンネル選択キー(3)を押し、次ページ(P.6)のチャンネル表のうち A チャンネルで設定したグループ内の、A チャンネルとは別のチャンネルを選択します。
4. 再び SET キー(4)を押すと、チャンネル設定が完了します。

※10 秒以内にいずれのキーも押さなかった場合は、自動で戻ります。
※A チャンネルと B チャンネルは同じチャンネル番号では設定できません。

チャンネルを設定する（マイクを 1 本使用する場合）

1. A チャンネルまたは B チャンネルのダイヤルを回し、電源を入れます。SET キー（4）を長押しし、チャンネル切り替えモードにします。
2. A チャンネルまたは B チャンネルの液晶ウィンドウにチャンネルの番号が点滅し始めます。チャンネル選択キー（3）を押し、下記のチャンネル表にあるチャンネルを選択します。
3. SET キー（4）をもう一度押すと、チャンネル設定が完了します。

※10 秒以内にいずれのキーも押さなかった場合は、自動で戻ります。

同じエリアで同時に本機を複数台使用する場合

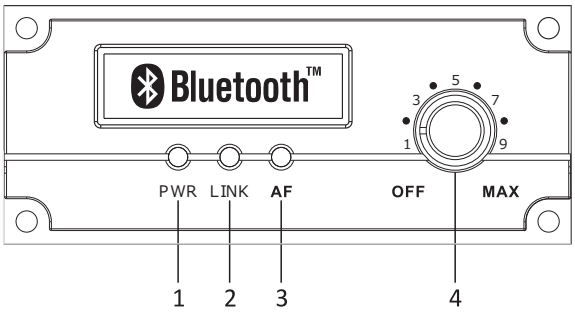
グループはすべて同じにし、チャンネルは異なる数字を設定してください。
同時に使用できるワイヤレスマイクは同一グループ内で6波（本機3台）までです。

チャンネル表（受信周波数表）

グループ	チャンネル	呼称	周波数（MHz）
1	01	B11	806.125
	02	B12	806.375
	03	B13	807.125
	04	B14	807.750
	05	B15	809.000
	06	B16	809.500
2	07	B21	806.250
	08	B22	806.500
	09	B23	807.000
	10	B24	807.875
	11	B25	808.500
	12	B26	808.875
3	13	B31	806.625
	14	B32	806.875
	15	B33	807.375
	16	B34	808.250
	17	B35	808.625
	18	B36	809.250
4	19	B41	806.750
	20	B42	807.500
	21	B43	808.000
	22	B44	809.125
	23	B45	809.375
	24	B46	809.750
5	25	B51	807.625
	26	B52	808.125
	27	B53	808.375
	28	B54	808.750
	29	B55	809.625
6	30	B61	807.250

本機にDR-500ワイヤレスレシーバーをもう1台増設した場合は、2台のレシーバーで同じチャンネルを設定しないでください。

Bluetooth レシーバーの操作パネル　BX-501



1. 電源ランプ
2. Bluetooth 接続表示ランプ
3. 音声表示ランプ
4. 電源入／切、ボリューム ダイヤル

操作方法

1.Bluetooth 機能を有効にするにはダイヤル(4)を右にまわして電源を入れます。

2. チャイムが鳴り電源ランプが青色に点灯します。Bluetooth 接続表示ランプが青色に点滅するとペアリングを実行しているサインです。

3. ペアリング・モード時にスマートフォンなどの接続したい端末の Bluetooth 接続を起動させます。「okayo GPA」がペアリングリストに現れますので、それを選択します。

4. ペアリングが正常に完了すると、再びチャイムでお知らせします。ランプ表示は青色が常時点灯した状態になります。これでスマートフォンから Bluetooth 経由で音声を流す設定が完了しました。

5. 音量はスマートフォンかボリュームダイヤルで調節します。

6.Bluetooth レシーバーから音声信号が受信されると、音声表示ランプが緑色に光ります。

7. 再生中に電話の着信があった場合、電話に出ると音声ストリーミングは中断します。通話が終了すると、Bluetooth モジュールは自動的に再接続し、再生が再開※されます。

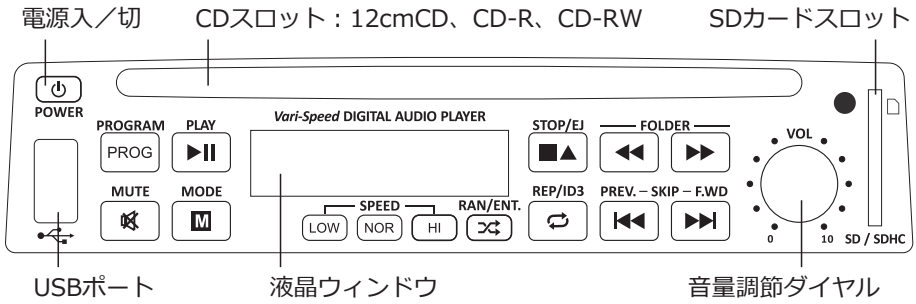
8.Bluetooth の接続圏外に移動した場合、圏内に戻ってくるまで音声ストリーミングは中断されます。

9.Bluetooth のスイッチをオフにすると、再びチャイムでお知らせします。

※再生側の設定によります。

オーディオプレイヤー　CD-800Sの操作パネル

CD-800S



操作方法

PLAY ▶II **再生／一時停止**

STOP/EJ ■▲ **停止／ CD ディスクの取り出し／挿入**

MODE M **CD ／ USB メモリ／ SD カード選択ボタン**

RAN/ENT. **ランダム再生**　1 回押すと、液晶ウィンドウに”RAN”が表示され、全トラックをランダムに再生します。もう一度押すと、ランダム再生が解除されます。

REP/ID3 **リピート再生**

【CD 選択時】1 回押すと、”REP1”が表示され、1 トラックのみをリピート再生します。 もう一度押すと、”ALL”が表示され、全トラックをリピート再生します。再度押すと、リピート再生設定が解除されます。

【USB ／ SD カード選択時】1 回押すと、”REP1”が表示され、1 トラックのみをリピート再生します。 もう一度押すと、”REP1 F”が表示され、フォルダ内の全トラックをリピート再生します。再度押すと”ALL”が表示され、全トラックをリピート再生します。再度押すと、リピート再生設定が解除されます。

◀◀ **前のフォルダへ移動**

▶▶ **次のフォルダへ移動**

PREV. – ⏮ **前のトラックへ移動／ 5 秒長押しで早戻し**

– F.WD ⏭ **次のトラックへ移動／ 5 秒長押しで早送り**

MUTE **消音（ミュート）**

PROGRAM PROG **10 トラックまで再生リストを記録できます。**

【CD 選択時】

PROGRAM PROG を押し、PREV. – ⏮ – F.WD ⏭ でトラックを選択、RAN/ENT. で記録します。あとはトラック選択→ RAN/ENT. の操作を繰り返します。PROGRAM PROG を再度押すとリストの設定を解除します。

【USB ／ SD カード選択時】

PROGRAM PROG を押し、◀◀ ▶▶ でフォルダを選択、PREV. – ⏮ – F.WD ⏭ でトラックを選択、RAN/ENT. 🔀 で記録します。あとはフォルダ選択→トラック選択→ RAN/ENT. 🔀 の操作を繰り返します。

PROGRAM PROG を再度押すとリストの設定を解除します。

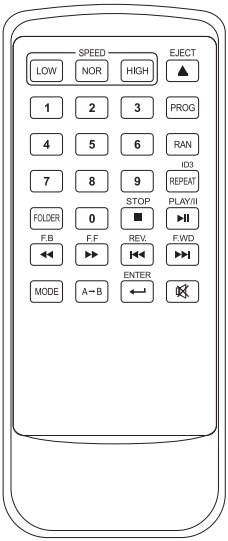
REP/ID3 🔁 3 秒長押しで、トラック名、アーティスト名、アルバム名を表示します。

※ファイル名に情報が無い場合は表示されません。表示は半角英数字のみになります。

LOW **トラックのスピードを遅くします。**(10 段階で設定可能)

HI **トラックのスピードを速くします。**(10 段階で設定可能)

NOR **通常のスピードに戻します。**



リモコンのボタン操作（その他の操作）

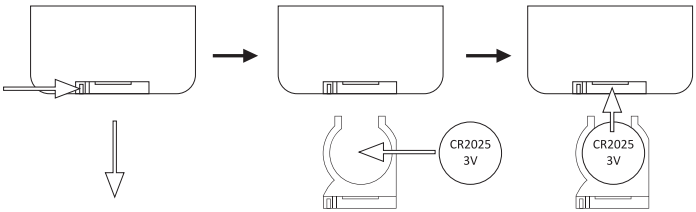
1 ～ 0 **トラック番号選択ボタン**

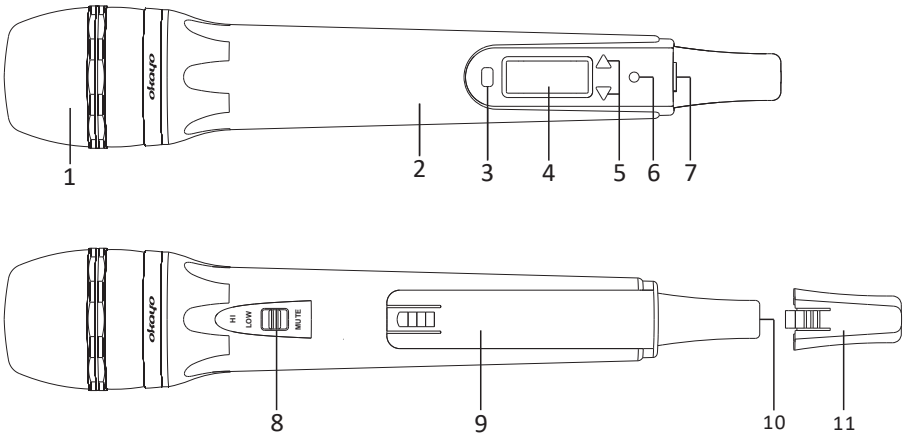
A→B **A-B 区間リピートボタン**

トラックの再生中に、リピートしたい箇所で A→B を押し、リピート開始点を設定します。再度 A→B を押し、リピート終了点を設定します。A→B を押した区間のみリピート再生を続けます。再度押すとリピート設定が解除され、通常再生に戻ります。

リモコンの電池を交換する

1. 初めにリモコン裏側にある蓋のつめを右方向に押し、電池ホルダーを取り外します。
2. CR2025 3V ボタン電池を印字のある面を上にして電池ホルダーにセットし、リモコンの中に入れます。





1. メッシュヘッド
2. 持ち手
3. 設定キー
4. 液晶ウィンドウ
5. チャンネル選択キー
6. 電源ランプ
7. 電源ボタン
8. HI ／ LOW ／ MUTE 選択スイッチ
9. 電池カバー
10. 充電接触端子
11. キャップ

電池の入れ方

1. キャップ(11)を外し、電池カバー(9)を下方向にスライドさせ外します。単三形ニッケル水素充電式電池(1900mAh 推奨)または乾電池を 2 本入れます。
2. 電池を入れる際は + と－が正しい方向になるよう確認してください。
3. 電池が落ちないように、電池カバー(9)を正しく取り付けた後、キャップ(11)をはめてください。

操作方法

マイクの電源を入れる

1. 電源ボタン(7)を約 1 秒間長押しします。
2. 液晶ウィンドウに Ｏｎが点灯し、約 1 ～ 2 秒後にチャンネル番号とバッテリー残量が表示されます。

マイクの電源を切る

1. 電源ボタン(7)を約 2 秒以上長押しします。
2. 液晶ウィンドウに OFF が表示され、約 2 ～ 3 秒後に電源が切れます。

マイクのチャンネルを設定する

1. 電源を入れると、CH.01 が液晶ウィンドウに表示されます。設定キー(3)を約 2 秒以上長押しすると、チャンネル番号 CH01 が点滅し始めます。
2. チャンネル選択キー(5)で、チャンネルを選択します。チャンネルは 01 ～ 30 まで選択できます。ワイヤレスレシーバー DR-500 で設定した同じチャンネルを選択してください。
3. 設定キー(3)をもう一度押すと、チャンネル設定が完了します。

※10 秒以内にいずれのキーも押さなかった場合は、自動で戻ります。

※電力不足は信号の出力に影響を与えます。日常的に使用する場合は、充電式電池での運用も効果的です。単三形ニッケル水素充電式電池(1900mAh 推奨)を使用し、別売のマイク用充電器 HDC-702 で充電を行ってください。

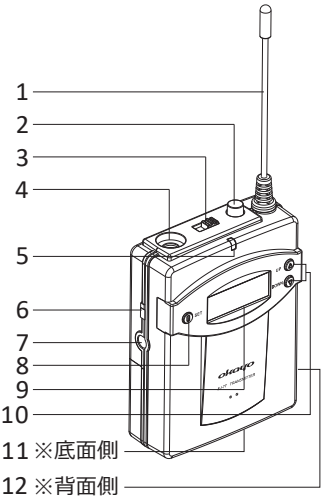
HDC-702

乾電池を充電しないでください。発熱、液漏れ、破裂の恐れがあり、たいへん危険です。

マイクを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

タイピン型ワイヤレスマイクロホン　EJ-7T

1. アンテナ
2. ミュートボタン
3. 電源スイッチ
4. Φ3.5mm マイクジャック
5. 電源ランプ
6. 感度選択スイッチ
7. AUX 入力
8. SET(設定)キー
9. 液晶ウィンドウ
10. チャンネル選択キー
11. 充電接触端子
12. 電池カバー



電池の入れ方

1. 写真の OPEN の位置を押し電池カバー(12)を下方向に外します。単三形ニッケル水素充電式電池(1900mAh 推奨)または乾電池を 2 本入れます。
2. 電池を入れる際は + と－が正しい方向になるよう確認してください。
3. 電池が落ちないように、電池カバー(12)を正しく取り付け、ロックされたことを確認してください。

操作方法

マイクの電源を入れる

1. 電源スイッチ(3)を ON の位置にすると液晶ウィンドウに Ｏｎが表示され、電源ランプ(5)とバックライトが点灯します。
2. チャンネル番号とバッテリー残量が表示され、約 4 ～ 5 秒後にバックライトが消えます。

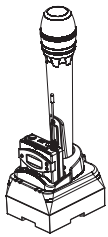
マイクの電源を切る

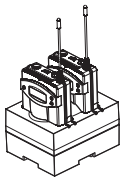
1. 電源スイッチ(3)を OFF の位置にすると、液晶ウィンドウにバックライトが点灯し OFF が表示された後、約 2 ～ 3 秒後に電源が切れます。

マイクのチャンネルを設定する

1. 電源を入れると、CH.01 が液晶ウィンドウに表示されます。設定キー(8)を約 2 秒以上長押しすると、チャンネル番号 CH01 が点滅し始めます。
2. チャンネル選択キー(10)で、チャンネルを選択します。チャンネルは 01 ～ 30 まで選択できます。ワイヤレスレシーバー DR-500 で設定した同じチャンネルを選択してください。
3. 設定キー(8)をもう一度押すと、チャンネル設定が完了します。

※10 秒以内にいずれのキーも押さなかった場合は、自動で戻ります。
※マイクと GPA-828DU のチャンネルを同じチャンネルに設定してください。
※SET(設定)キー(8)、チャンネル選択キー(10)のいずれかを押すと、バックライトが点灯します。
※電力不足は信号の出力に影響を与えます。日常的に使用する場合は、充電式電池での運用も効果的です。単三形ニッケル水素充電式電池(1900mAh 推奨)を使用し、別売のマイク用充電器 HDC-702 または HDC-707 で充電を行ってください。


HDC-702


HDC-707

乾電池を充電しないでください。発熱、液漏れ、破裂の恐れがあり、たいへん危険です。

マイクを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

製品仕様

ポータブル PA システム GPA-828DU

定格出力	80W（最大 120W）
スピーカー	8 インチウーファー、1 インチツイーター
音声入力	Φ6.3mm マイク入力（コンボ端子）、Φ3.5mmAUX 入力、LINE 入力、マイク／ラインスイッチ
音声出力	Φ3.5mmAUX 出力、LINE 出力
受信機モジュール	800MHz 帯ワイヤレスレシーバー DR-500 （2 波）
オーディオプレイヤー	CD-800S
Bluetooth 受信機	BX-501
エフェクト	エコー、ディレイエフェクト搭載
電源	AC100 ～ 240V　AC スイッチング電源
電池	12V　4.5Ah×2　充電式鉛蓄電池
充電時間	約 6 ～ 8 時間
使用時間	約 4 ～ 6 時間
充電表示	FULL、80%、50%、20% の 4 段階
寸法	264 x 301.5 x 501.6mm
質量	約 16kg（バッテリーを含む）

800MHz帯ワイヤレスレシーバー　DR-500

周波数範囲	806.125MHz ～ 809.750MHz
チャンネル数	30 チャンネル
液晶ディスプレイ表示	チャンネル、電波強度
使用温度範囲	-10° C ～ +50° C
周波数特性	70 Hz ～ 16 kHz
使用距離	50 ～ 70 メートル

製品仕様

ハンド型ワイヤレスマイクロホン EJ-701TS

マイクユニット	ダイナミックマイク
アンテナ	内蔵
RF 出力	10mW
ボリューム制御	HI ／ LOW ／ MUTE スイッチ
電池	単 3 形 1.2 V(ニッケル水素)充電式電池 2 本(1900mAh 推奨)、 または単 3 形 1.5 V 乾電池 2 本
連続使用時間	充電式電池約 8 時間／アルカリ乾電池約 14 時間
寸法	直径 48.6 x 長さ 266.1 (mm)
質量	200g(電池を含まず)

タイピン型ワイヤレスマイクロホン EJ-7T

マイクユニット	コンデンサーマイク
アンテナ	フレキシブルアンテナ
RF 出力	10mW
音声入力	Φ3.5mm マイク入力、AUX 入力
ボリューム制御	HI ／ MID ／ LOW ／ MUTE スイッチ
電池	単 3 形 1.2 V(ニッケル水素)充電式電池 2 本(1900mAh 推奨)、 または単 3 形 1.5 V 乾電池 2 本
連続使用時間	充電式電池約 8 時間／アルカリ乾電池約 14 時間
寸法	奥行 34 x 幅 64 x 高さ 169.2 (mm)
質量	170 g(電池を含む)

この取扱説明書の内容は予告なく変更になる場合がございます。

同梱品について

スピーカー　GPA-828DU

スピーカー用電源コード

800MHz帯ハンド型
ワイヤレスマイクロホン　EJ-701TS
※ハンド型マイクのセットに付属

800MHz帯タイピン型
ワイヤレスマイクロホン　EJ-7T
※タイピン型マイクのセットに付属

オーディオプレイヤー
CD-800S 用リモコン

取扱説明書兼
保証書（本書）

別売オプション

スピーカースタンド　ST-750

スピーカーカバー　CB-820

防滴スピーカーカバー　WPB-820

充電器　HDC-702

800MHz帯ハンド型
ワイヤレスマイクロホン　EJ-701TS

800MHz帯タイピン型
ワイヤレスマイクロホン　EJ-7T

別売オプション

スピーカー用電源コード

オーディオプレイヤー
CD-800S 用リモコン

故障かな？と思ったら

電源が入らない	
マイク	●電池が正確にセットされているかを確認してください。
スピーカー	●電源コードが正しく接続されているかを確認してください。
共通	●電池の残量は十分あるかを確認してください。

音が出ない	
スピーカー	●電源がオンになっているか、マスターボリューム調節ダイヤルが最小になっていないかを確認してください。
マイク	●ミュートモードになっていないか確認してください。
マイク	●マイク付近に大きな干渉源がないか確認してください。
共通	●マイクとスピーカーのチャンネルが同じかどうかを確認してください。

音声が大きすぎる／小さすぎる	
スピーカー	●ボリュームを調整して適切な音量にしてください。

音量のフィードバックが大きい	
共通	●主音量を適切な大きさに調整してください。

充電できない	
スピーカー	●電源が正しく接続されているか、バッテリーが正しく取り付けられているかをご確認ください。
スピーカー	●それでも充電できない場合はバッテリーを交換してください。
マイク	●マイクと充電器の充電接触端子部分に埃がたまっていないかを確認してください。
マイク	⚠ 乾電池を充電しようとしていませんか？ 乾電池は充電に対応していませんので絶対にやめてください。

【販売】

インカムショップ.com

本店物流センター／〒852-8136 長崎県長崎市家野町5番19号
電話 095-848-4337　FAX 095-848-4874
[受付時間] 平日（月曜～金曜）9：00～18：00